

38th

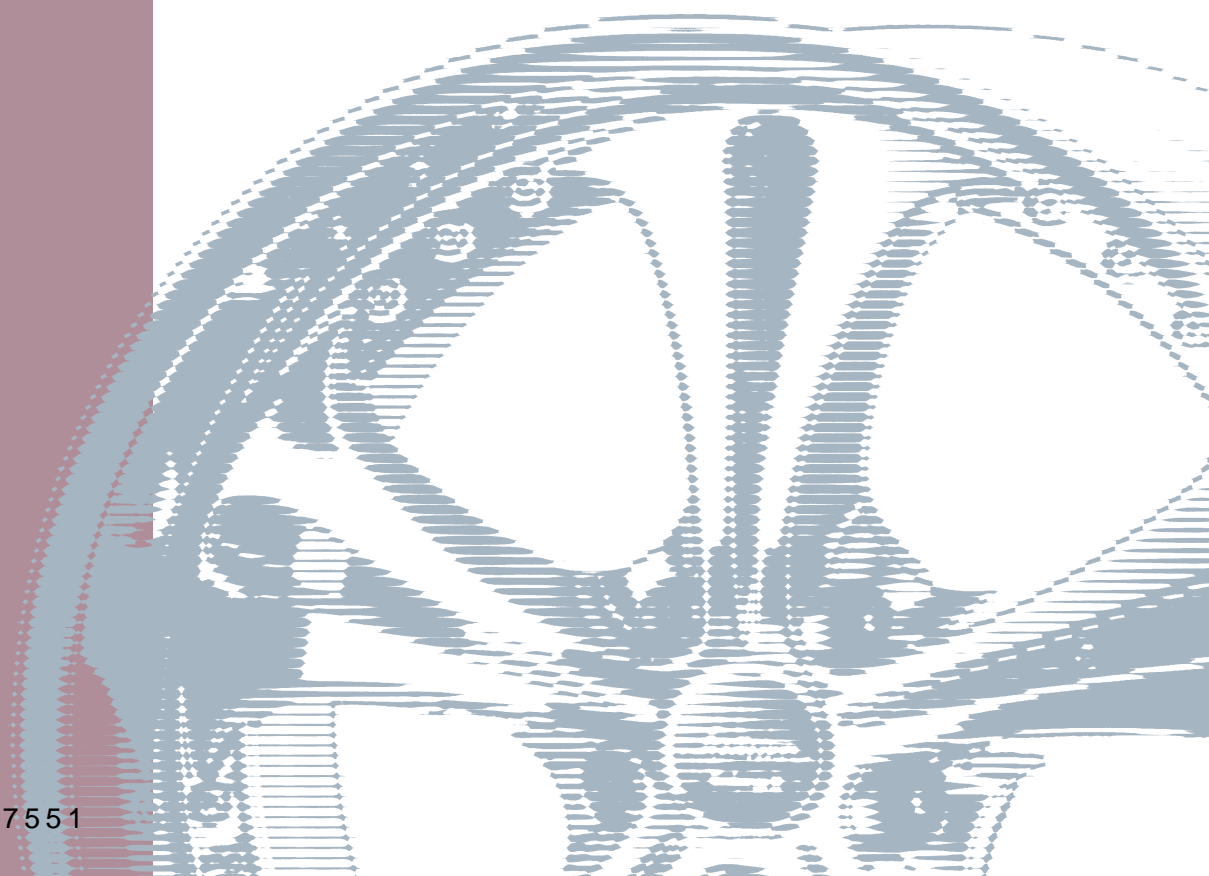
第38期 中間事業報告書

平成14年4月1日から平成14年9月30日まで

weds

株式会社ウェッズ

証券コードNo.7551



車と社会の未来を グローバルに創造する。



CONTENTS

株主のみなさまへ	2
中間決算ハイライト	3
第38期中間期の営業概況	4
第38期事業戦略の中間レポート	5
第38期下半期の取り組み	6
中間財務諸表	7
Topics	9
会社の概要・株式情報	10

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第38期中間期（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）の当社業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当中間期の我が国経済は、米国経済の持ち直しに伴う輸出回復により生産が増加基調にありましたが、個人消費の落ち込み、企業設備投資の手控え、株価の大幅下落等によってデフレ圧力が強まり、景気は回復感がないまま推移しました。

自動車業界において、新車販売台数は輸出により増加しましたが国内販売は総じて低迷が続き、当社が属しているアフターマーケットでは長引く不況によって卸・小売業者の倒産が相次いで発生しました。

このような環境下、当社は、3年連続となる春先の全社キャンペーン展開等によるホイール拡販を目指すとともに、新事業にも注力し、当中間期においては「マイナスイオン発生器」の販売を開始しました。しかしながら機械設備受注の減少等により、売上高8,681百万円、経常利益67百万円となり、前年中間期に比較して減収減益となりました。



一方、今期の課題としてあげておりましたコストダウンにつきましては、在庫の圧縮等バランスシートのスリム化は引き続き一定の成果をあげました。

なお、当期の中間配当につきましては、1株につき3円75銭とさせていただきますと存じます。

通期の業績見通しにつきましては、経済環境が一段と厳しさを増すと予想されておりますので、年初計画を若干下方修正しておりますが、経営諸課題の遂行につきましては、これまで以上に方針徹底とスピードアップを図り、環境悪化に対応して参る所存であります。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年12月

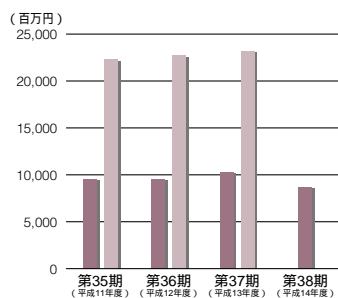
代表取締役社長 **上坂 良夫**

中間決算ハイライト

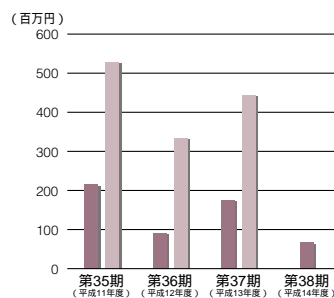
38th

中間 通期

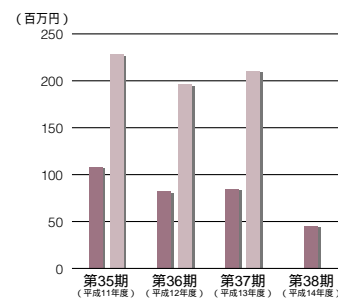
売上高



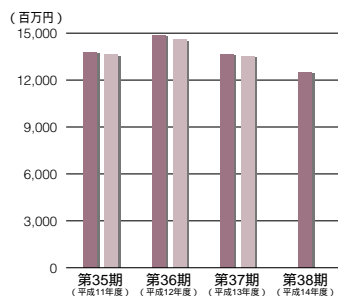
経常利益



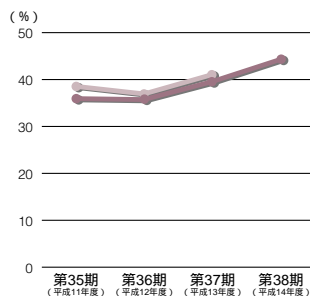
中間(当期)純利益



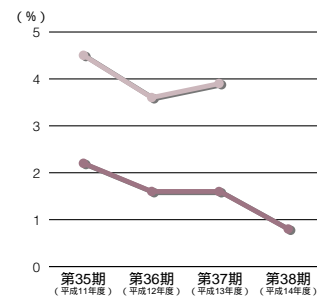
総資産



株主資本比率



株主資本利益率



項 目		第35期(平成11年度)		第36期(平成12年度)		第37期(平成13年度)		第38期(平成14年度)
		上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期	上半期
売上高	(百万円)	9,556	22,281	9,564	22,713	10,267	23,151	8,681
営業利益	(百万円)	71	292	39	179	103	325	11
経常利益	(百万円)	215	528	92	334	175	444	67
中間(当期)純利益	(百万円)	108	228	82	196	85	210	45
株主資本	(百万円)	4,943	5,245	5,302	5,381	5,390	5,532	5,528
総資産	(百万円)	13,767	13,621	14,855	14,575	13,632	13,500	12,489
株主資本比率	(%)	35.9	38.5	35.7	36.9	39.5	41.0	44.3
株主資本利益率	(%)	2.2	4.5	1.6	3.6	1.6	3.9	0.8

第38期中間期の営業概況

当中間期の概況

当中間期の我が国経済は、米国経済の持ち直しに伴う輸出回復により生産が増加基調にありましたが、個人消費の落ち込み、企業設備投資の手控え、株価の大幅下落等によってデフレ圧力が強まり、景気は回復感がないまま推移しました。

当中間期の自動車業界は、米国向け輸出の回復により新車生産台数が増加したものの、国内販売は総じて低迷が続き、当社が属しているアフターマーケットでは、長引く不況によって卸・小売業者の倒産が相次いで発生しました。かかる環境下、当社は全力を挙げて業績の確保に努めましたので、計画対比では売上高・経常利益は若干の減収・減益に止まり中間純利益は若干の増益になりましたが、前中間期と比較すると機械設備受注の減少等により大幅な減収・減益となりました。

これらの結果、当中間期の売上高は、対前年同期比1,586百万円（15.4%）減の8,681百万円、経常利益は対前年同期比107百万円（61.5%）減の67百万円、中間純利益は対前年同期比39百万円（46.4%）減の45百万円になりました。当中間期の設備投資は57百万円であり当該資金は自己資金により充当しております。

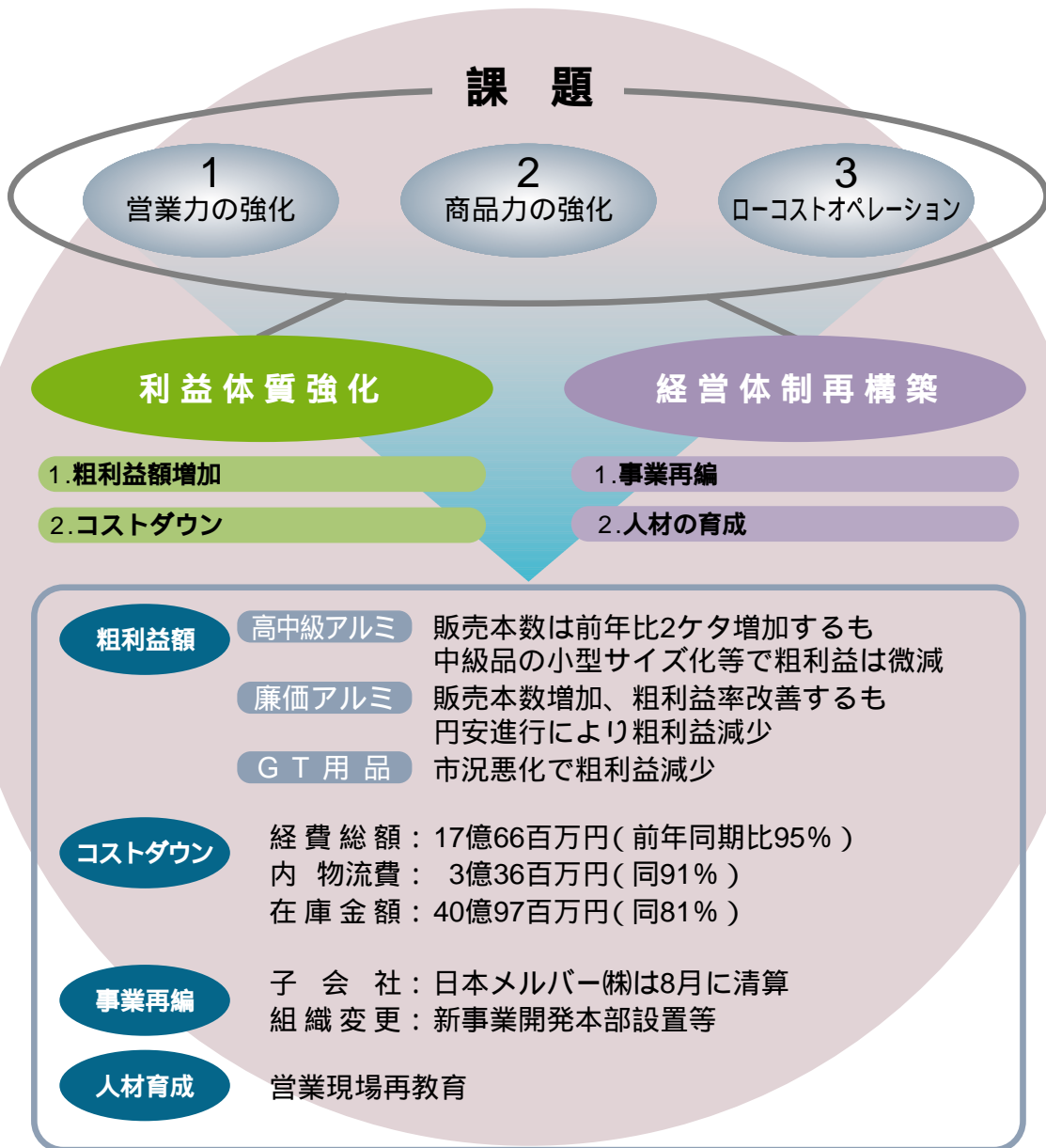
通期の見通し

今後の我が国経済につきましては、政府のデフレ対策が期待されるのですが、米国経済の減速化に伴う輸出の落ち込みや失業増加による個人消費の低迷等が懸念され、景気は浮揚力をなくして底這い状態で推移することも心配されます。

こうした環境下、当社は高中級アルミホイールの販売促進強化、全国営業推進体制の強化、商品開発体制及び在庫管理の強化、経費削減の徹底等諸施策を推進して、利益体質の強化並びに経営体制の再構築を進めて参存しております。

なお、子会社の日本メルバー（株）は経営不振のため平成14年4月30日をもって解散し、平成14年8月30日に清算を結了しました。

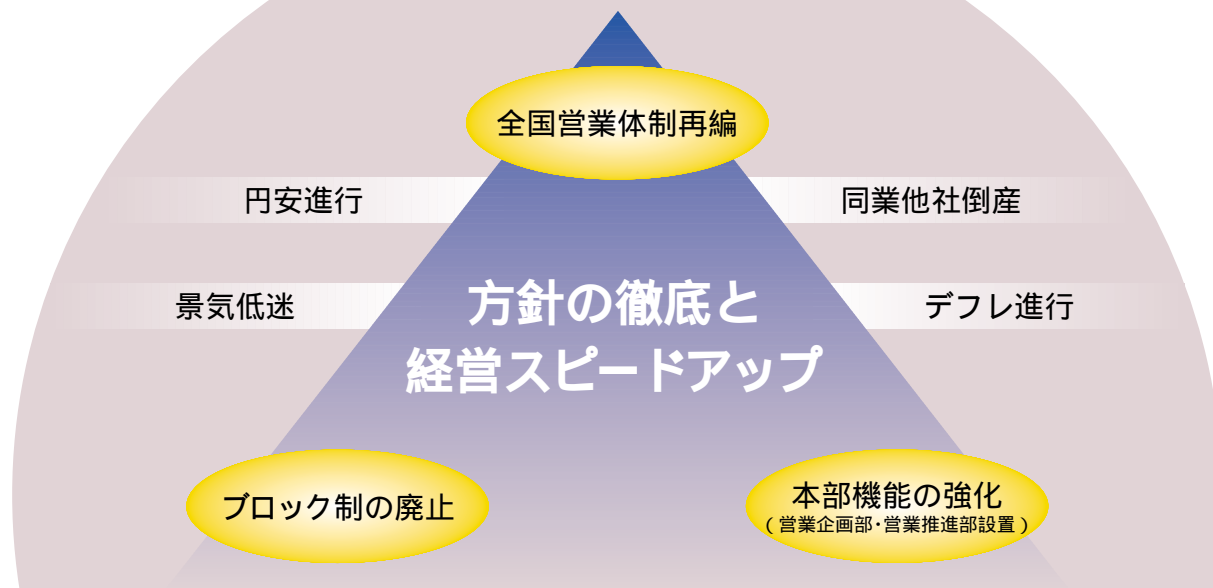
これらを踏まえた通期業績見通しは、売上高21,500百万円（前年比7.1%減）、経常利益400百万円（前年比10.0%減）、当期純利益200百万円（前年比4.9%減）を見込んでおります。



第38期下半期の取り組み

【1】経営体制再構築(環境悪化対応)

早期方針徹底のためブロック制廃止、本部機能強化を目的とした組織変更を実施



【2】下期需要動向

早めの降雪により今下期販売は好調にスタート
(降雪需要が膨らめば当社は営業力と物流力で強みを発揮)

スチール、廉価アルミホイールのロット販売でシェアアップ

販売網構築(タイヤ販売・カー用品量販店 他)
デリバリー強化(3物流拠点から効率的配送)
商品調達力強化(海外メーカーとの関係強化)

【3】年間経営計画

景気低迷等により年間目標は下方修正

	(年初計画)		(修正計画)
売上高	220億円	▶	215億円
経常利益	4.6億円	▶	4億円

中間財務諸表

38th

中間貸借対照表 (単位：百万円)

科目	第38期中間 平成14年9月30日現在	第37期中間 平成13年9月30日現在	第37期 平成14年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	9,095	9,657	9,916
現金・預金	772	292	781
受取手形	1,186	1,590	2,975
売掛金	2,423	2,380	2,739
たな卸資産 ¹	4,097	5,033	2,327
繰延税金資産	81	45	160
その他	544	325	951
貸倒引当金	11	11	20
固定資産	3,393	3,974	3,584
有形固定資産	2,157	2,298	2,239
建物	871	959	910
土地	1,019	1,019	1,019
その他	266	319	309
無形固定資産	8	9	9
投資その他の資産	1,227	1,666	1,336
繰延税金資産	36	37	3
その他	1,222	1,661	1,363
貸倒引当金	31	32	31
資産合計	12,489	13,632	13,500

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

1 たな卸資産について

商品在庫管理強化により、当中間期末のたな卸資産は前年同期比で大幅に減少しております。なお、10月から12月にかけて冬タイヤ履き替で需要が本格的に発生しますが、その販売に備えるため当社のたな卸資産は3月末より9月末が高水準になります。

科目	第38期中間 平成14年9月30日現在	第37期中間 平成13年9月30日現在	第37期 平成14年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	5,849	7,081	6,834
支払手形	456	2,044	628
買掛金	1,758	1,607	1,605
短期借入金	3,000	2,905	3,750
その他	634	524	851
固定負債	1,111	1,160	1,133
長期借入金	700	800	750
退職給付引当金	272	242	253
役員退職慰労引当金	122	102	113
その他	16	14	17
負債合計	6,960	8,241	7,968
(資本の部)			
資本金		852	852
資本準備金		802	802
利益準備金		213	213
その他の剰余金		3,547	3,655
任意積立金		3,366	3,366
中間(当期)未処分利益		180	288
その他有価証券評価差額金		24	8
資本合計		5,390	5,532
資本金	852		
資本剰余金	802		
利益剰余金	3,876		
その他有価証券評価差額金	3		
資本合計	5,528		
負債・資本合計	12,489	13,632	13,500

中間損益計算書（単位：百万円）

科 目	第38期中間	第37期中間	第37期
	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
売上高 2	8,681	10,267	23,151
売上原価	6,926	8,312	18,787
売上総利益	1,754	1,954	4,364
販売費及び一般管理費	1,766	1,851	4,038
営業利益	11	103	325
営業外収益	112	119	198
営業外費用	33	47	79
経常利益	67	175	444
特別利益	83		410
特別損失	40		439
税引前中間（当期）純利益	110	175	415
法人税、住民税及び事業税	10	48	268
法人税等調整額	54	41	62
中間（当期）純利益	45	85	210
前期繰越利益	101	95	95
中間配当額			16
中間（当期）未処分利益	147	180	288

（注）単位未満については切り捨てて表示しております。

中間キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）

科 目	第38期中間
	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	805
投資活動によるキャッシュ・フロー	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	816
現金及び現金同等物の増加額	8
現金及び現金同等物期首残高	781
現金及び現金同等物中間期末残高	772

（注）単位未満については切り捨てて表示しております。

連結子会社でありました日本メルバー(株)は、平成14年4月30日をもって解散し、平成14年8月30日をもって清算したため、当中間連結会計期間より連結財務諸表を作成しておりません。
また前期においては、単体ベースのキャッシュ・フロー計算書を作成しておりません。

2 売上高について

前中間期の売上高は、スポット的な大口の機械設備受注があったため通常より増加しております。

なお、当社主力事業である自動車関連部門における上半期と下半期の売上高の格差は、季節的変動によるものです。

マイナスイオン発生器の販売について

新商品として車載用のマイナスイオン発生器（イオンアルファ）の発売については、「第37期事業報告書」においてもご案内させていただきましたが、その後ACアダプターを用いた室内用も販売するとともに、当社ホームページからのオンラインショッピングも開始しました。



イオンアルファ



<http://www.weds.co.jp>

韓国ASA社製 組立ホイールを日本導入

独BBS社と技術ライセンス契約を結んでいる韓国のホイール製造メーカーであるASA社で組立式ホイールをOEM生産し、オリジナルブランドで日本市場に投入します。

第一弾として投入するホイールはアルミビレット材を7,000トン鍛造油圧プレスを用い、チューブパイプ状にしたリム材をスピニングマシンを使ってリムに成形した「鍛造シームレスモノチューブリム」を用いた2ピース構造の2デザイン・2機種です。製品特徴として現在の2ピース同構造のホイールに対して高精度、高強度を誇ります。

今後、今期から来期にかけてサイズラインナップの充実と新デザイン投入を行い市場シェアの拡大を狙います。



来年「東京オートサロン2003」 「大阪オートメッセ2003」に出展予定!



毎年千葉の幕張で行なわれている「東京オートサロン2003 with NAPAC」と、当社初めての出展になります関西地区で一番の入場者を誇る「大阪オートメッセ2003」に正式に出展を予定しております。

新商品の発表はもとより、ブース内に商談スペースを設け、来場されたお取引先様との商談の場としても活用し効果をあげ好評を得ています。

さまざまなイベントにも積極的に参加し、当社オリジナルブランドのさらなる確立を目指します。

会社の概要・株式情報 (平成14年9月30日現在)

会社概要

商号 株式会社ウェッズ
WEDS CO.,LTD.

本社所在地 東京都目黒区目黒本町1-12-12

設立 昭和40年10月12日

代表者 代表取締役社長 上坂良夫

資本金 8億5,275万円

従業員数 176名

業務内容 自動車用アルミホイール・スチール
ホイールを中心とした自動車部品・
用品の販売

役員

取締役会長 永井秀哉

代表取締役社長 上坂良夫

常務取締役 川口修

常務取締役 谷越時義

取締役 加藤寛夫

取締役 都島正司

取締役 大村正夫

取締役 畑井勇喜雄

常勤監査役 井上正明

常勤監査役 川崎史博

監査役 清水延能

(注) 監査役清水延能氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特別に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株式情報

会社が発行する株式総数17,780,000株

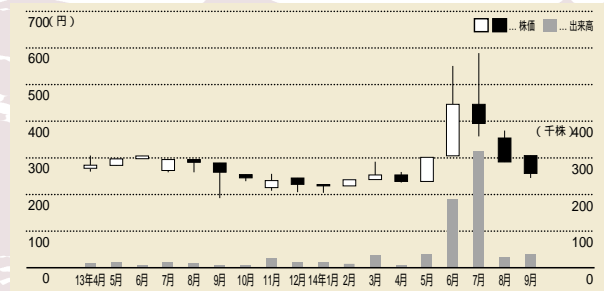
発行済株式総数4,445,000株

株主数612名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.49
石原勝成	315,959	7.11
株式会社UFJ銀行	222,000	4.99
根津昭	190,100	4.27
ウェッズ従業員持株会	130,010	2.92
碧海信用金庫	127,000	2.86
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星野肇	60,500	1.36
大見昌弘	59,620	1.34

株価推移



株主メモ

- 決 算 期 3月31日
- 配当金受領株主 3月31日
確 定 日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
9月30日といたします。
- 定 時 株 主 総 会 毎年6月
- 株 主 確 定 基 準 日 3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>
- 株 式 名 義 書 換
名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社
- 同 事 務 取 扱 所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
(お問合せ先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (証券代行事務センター)
電話03(3323)7111 (大代表)
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本支店、出張所

weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒152-0002 東京都目黒区目黒本町1-12-12

TEL 03-3792-0130

URL <http://www.weds.co.jp>